

日本建築と大工道具

～ 木のいのちを活かす道具と技 ～

日本は樹木が豊富であり、新石器時代の昔から木材が建築に使われてきました。その象徴として、法隆寺は607年に建てられ、1300年を経た今も、現存する世界最古の木造建造物であるとされています。斑鳩の宮大工の故西岡常一氏は、樹齢1300年ものヒノキの命をいただいて作る御堂は、同じ年分活かさなければいけない、と言っています。

木材は天然物であり、その特性に合わせて使い分け、木組みをしています。そのような木材を加工する大工道具は、精緻な加工を実現するための道具として発展してきました。その種類はとても多彩で、加工精度や使い勝手に対する多くの工夫がなされています。まさに工人の技と精巧な大工道具によって、木が木材として生まれ変わり、活かされています。

本研究会では、その専門のみなさんからの解説と実物の見学を通して、神髄に迫りたいと思います。



法隆寺金堂と五重塔

主催：公益社団法人精密工学会 生産原論専門委員会

共催：株式会社つくりのちえ

日時：2025年5月15日(木) 13:00～16:30

会場：竹中大工道具館

アクセス：JR新神戸駅から徒歩3分

※講演のみのオンライン参加も可能です。

13:00～13:05	開会挨拶	生産技術史部会主査 日本工業大学 教授 神 雅彦 氏
13:05～14:00	講演1 未来へ伝えたい匠の技と心	竹中大工道具館 館長 河崎 敦子 氏
14:00～14:40	講演2 社寺建築の歴史と技術	日本工業大学 准教授 野口 憲治 氏
14:40～15:00	講演3 技能五輪全国大会建築大工部門への挑戦	日本工業大学大学院工学研究科 建築デザイン学専攻 川嶋 涼太 さん
15:10～16:25	見学 竹中大工道具館	
16:25～16:30	閉会挨拶・事務連絡	委員長 埼玉大学 教授 池野 順一 氏

参加費

当専門委員会会員：無料，共催団体：無料，互換共催団体：無料，非会員：5,000円

竹中大工道具館入館料：一般700円，大高生500円，中学生以下無料，65歳以上の方500円

※オンライン参加の場合はPC接続数に限りがありますので専門委員会事務局（永野善己）にお問い合わせ下さい。（注）「会員」とは専門委員会会員を指します。学会員ではございませんのでご注意ください。

申込締切日：2025年4月25日(金)

(注) 当日キャンセルの非会員には、すでに準備に費用がかかっているため参加費を請求致します。

問合せ/申込先：当専門委員会事務局 永野善己宛

e-mail nagano.yoshiki@oyama-pc.ac.jp FAX 0285-31-1788